(様式１)

　令和　　年　　月　　日

須賀川市長　様

所　 在 　地

商号又は名称

代表者職氏名 印

**プロポーザル参加表明書**

須賀川市公式ウェブサイトCMSサービス利用及びシステム運用保守業務公募型プロポーザルについて、参加の希望を表明します。

なお、当該業務における参加資格者の要件を満たしていること及び添付書類の記載事項は事実と相違ないことを誓約します。

１　事業者の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 所在地 |  |
| 商号又は名称 |  |
| 代表者職氏名 |  |

２　連絡先

|  |  |
| --- | --- |
| 部署名 |  |
| 役職 |  |
| （ふりがな）担当者名 |  |
| 電話 |  |
| ＦＡＸ |  |
| メールアドレス |  |

３　参加資格

確認事項を満たすものについて「○」を記入すること。

表中の確認事項は、実施要領「9参加資格」の項目を指す。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | 確認事項 | 記入欄 |
| １ | 地方自治法施行令第１６７条の４の規定に該当しない。 |  |
| ２ | 指名停止措置を受けていない。 |  |
| ３ | 納めるべき税金を滞納していない。 |  |
| ４ | 会社更生法に基づく更生手続開始、破産法に基づく破産手続開始、民事再生法に基づく再生手続開始の申立てがなされていない。 |  |
| ５ | 役員等が暴力団や暴力団員でない。また、役員等が暴力団や暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していない。 |  |

４　CMS製品名、バージョン等

|  |
| --- |
|  |

様式一式（様式２）

**業務実績調書**

商号又は名称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

実施要領「9参加資格」について確認するため、実績を記入すること。

※選択項目については、○印を記入すること。（行追加自由）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 業務名称（所在地） | 契約期間 | 業務内容 |
|  | 年　月～年　月 |  |
|  | 年　月～年　月 |  |
|  | 年　月～年　月 |  |
|  | 年　月～年　月 |  |
|  | 年　月～年　月 |  |
|  | 年　月～年　月 |  |

(様式３)

質問書

令和 　　　年　　　 月 　　　日

須賀川市公式ウェブサイトCMSサービス利用及びシステム運用保守業務公募型プロポーザルにおいて、次の項目について質問します。

(提案者)所 在 地

　　　　 　　　商号又は名称

　　　　　　　　　代表者職氏名

(連絡先)担当部署

　　　　　　担当者名

　　　　　　電話番号

　　　　　　　ＦＡＸ番号

　　　　　　　　　E-mailｱﾄﾞﾚｽ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| No. | 該当資料名 | 項 | 質問事項 |
| 1 |  |  |  |
| 2 |  |  |  |
| 3 |  |  |  |
| 4 |  |  |  |
| 5 |  |  |  |
|  |  |  |  |

**ＣＭＳ機能要件一覧表 (様式４)**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 |  | 内容 | 詳細 | 記入欄 | 備考 |
| １ ページ作成機能(全般) | 1 | 端末インストール | 職員の端末にソフトのインストールなどをする必要がないこと。 |  |  |
| 2 | 表作成 | 作成者がHTMLソースを編集することなく、簡易な操作によって、表の作成や編集を行えること。 |  |  |
| 3 | Word、Excelからのコピー＆ペースト による表作成 | 作成者がMicrosoft Word及びExcelの既存の文書からのコピー＆ペーストによって、表の作成や編集を行えること。 |  |  |
| 4 | 表示位置変更 | 作成者がHTMLソースを編集することなく、簡易な操作によって、文章や画像の配置(右寄せ、左寄せ、中央揃え、左右インデントなど)を行えること。 |  |  |
| 5 | 入力・編集中の表示イメージ確認(WYSIWYG編集) | テキスト入力項目について、ワープロソフトで文書を作るような感覚(What You See Is What You Get)で、公開時 のブラウザへの表示結果をほぼそのまま画面上に展開しながら、簡易な操作によって、入力や編集を行えること。 |  |  |
| 6 | HTMLソース編集 | HTMLソースを直接編集できること。（管理者のみ編集可能とする） |  |  |
| 7 | 画像加工支援 | 作成者が特定のソフトウェアを使用しなくても、簡易な操作によって、掲載する画像の縮小、トリミング、回転が行えること。 |  |  |
| 8 | 添付ファイルの一括掲載 | ページにPDF、Wordなどを添付し、ページ公開時にあわせて、それらの添付ファイルを掲載できること。 |  |  |
| 9 | 添付ファイルの形式、容量表示 | 添付ファイルを登録した際に、ファイル形式(Excel、PDFなど)及びファイル容量を自動的に掲載できること。 |  |  |
| 10 | ページの複製 | 簡易な操作によって既存のページを複製し、それを基に修正を加え、新たなページが作成できること。 |  |  |
| ２ ページ作成機能 (テンプレート) | 11 | フォーム入力形式のテンプレート作 成 | テンプレートで入力項目を細かく定義することで、作成者がレイアウト調整を行えないテンプレートを作成できること。 |  |  |
| 12 | WYSIWYG入力形式のテンプレート 作成 | ホームページビルダーのように、コンテンツエリアをWYSIWYG形式で入力するようなテンプレートを作成できること。 |  |  |
| 13 | フォーム入力形式とWYSIWYG入力 形式共存 | フォーム入力形式を主としつつ、特定入力項目についてWYSIWYG入力形式を許可することが可能なこと。 |  |  |
| 14 | スマートフォン対応のテンプレート 作成 | スマートフォン向けページを作成するための専用テンプレート又はPCとの共用テンプレートが作成できること。 |  |  |
| 15 | テンプレート選択 | 作成者が登録された複数のテンプレートの中から、利用したいテンプレートを選択できること。 |  |  |
| 16 | テンプレート選択の権限設定 | 管理者が作成者ごとに選択可能なテンプレートの種類を指定できること。 |  |  |
| 17 | 入力/選択項目に対する利用者権 限設定 | テンプレート内の入力項目及び選択項目について、入力/選択を許可する項目と許可しない項目を、管理者が作 成者ごとに権限設定できること。 |  |  |
| 18 | 入力/選択項目に対する制限設定 | テンプレート内の入力項目及び選択項目について、入力可能な文字種、文字列長、データ形式、容量、その他の 制限が設定できること。 |  |  |
| 19 | 画像入力項目に対する自動縮小設 定 | 画像入力項目に入力された画像について、入力項目ごとに設定された画像サイズ(幅、高さ)を超える画像が入力された際に、設定された画像サイズに自動的に縮小されるよう、設定が可能であること。 |  |  |
| 20 | 自動更新 | ページの追加、削除、変更にあわせて、グローバルナビ、ローカルナビ、パンくず、サイトマップ等が自動更新できること。 |  |  |
| ３ 確認チェック 機能 | 21 | ブラウザ表示によるプレビュー | 作成したページがどのように表現されるか、簡易な操作によって、ブラウザでの表示を確認できること。 |  |  |
| 22 | リンク切れチェック | 作成したページからのリンク(サイト内外)に、リンク切れが発生していないか確認できること。 |  |  |
| 23 | アクセシビリティチェック | JIS X8341-3:2016の基準に沿って作成したページのHTMLソースのチェックが行えること。問題が発生した際には、 プレビュー画面にて問題個所を明示できること。 |  |  |
| 24 | アクセシビリティ自動修正 | システムによる自動修正が可能な内容について、アクセシビリティ問題個所の自動修正が行えること。修正は、作成者がページ編集時に実行され、作成者に対して問題個所、自動修正案を提示したうえで、作成者の操作に より自動修正が実行されること。 |  |  |
| 25 | アクセシビリティ自動修正(修正除 外) | アクセシビリティ自動修正について、ページごと、問題個所ごとに修正の除外指定ができること。除外箇所は、 ページ編集時の作成者操作により指定が行えること。 |  |  |
| 26 | 変更箇所の明示 | 既存ページを変更した際に、変更箇所を色の違いで示すなど、分かりやすく表示できること。 |  |  |
| 27 | 使用禁止語のチェック | 使用禁止語の辞書登録が可能であり、登録された文字列が入力された際にエラー又は警告表示が行えること。 |  |  |
| 28 | 文字列置換 | 文字列置換ルールの辞書登録が可能であり、登録された文字列が入力された際に自動的にルールに沿った文字列置換を行うよう設定が可能なこと。 |  |  |
| 29 | 履歴保存 | ページの変更履歴を保持し、過去の状態を参照・復元できること。アプリケーションとして、履歴の保持期間の上限がないこと。 |  |  |
| 30 | ファイル容量チェック | 管理者が設定しておいた容量を超えるPDFや画像などのファイルが添付されていないか、機械的にチェックでき ること。 |  |  |
| ４ 編集機能 | 31 | 静的生成 | 公開時に静的なHTMLファイルを生成し、サーバーに保存できること。 |  |  |
| 32 | URLの指定 | CMS上で管理している任意のディレクトリにファイルを置くことができること。また、任意のファイル名とすることが できること。 |  |  |
| 33 | ページ削除時のリンク処理 | 公開ページを削除(非公開)する際に、他のページから当該ページへ設定されているリンクが存在する場合に、アラートが出せること。 |  |  |
| 34 | 印刷用ページの生成 | サイト及びカテゴリ内共通のメニュー部分を省きコンテンツ部分のみを印刷対象とするなど、印刷用に最適化された構成でコンテンツを表示できること。 |  |  |
| 35 | オープンデータ連携 | ウェブページを公開すると同時に、当該情報をデータカタログサイトに登録できること。また、当該ページを削除した際に、データカタログサイトから、当該データが削除できること。 |  |  |
| 36 | RSSフォーマット出力 | サイト全体あるいは管理者が指定するカテゴリ内の新たに作成されたページ内容について、自動的にRSSフィードを生成できること。 |  |  |
| 37 | RSSの読み込み | サイト内外で提供されるRSSデータをCMSに読み込み、その内容をページへ展開できること。(他サイトの最新情報を一覧表示するなどを想定) |  |  |
| 38 | 外部SNSへの投稿 | ページを作成する際、作成者が投稿先を選択することにより、公開したページをCMSから外部SNS(X及びFacebook等)へ投稿できること。 |  |  |
| 39 | ワークフローを適用した外部SNSへ の投稿 | ページを作成する際、作成者が投稿先を選択することにより、ページ承認と同一のワークフローに則り、承認者の承認を経たうえで公開したページをCMSから外部SNSへ投稿できること。 |  |  |
| 40 | 外部SNSとの連携 | X等の外部SNSへの投稿ボタン(ソーシャルボタン)を各ページに表示し、利用者がボタンを押すとコメント投 稿画面が開いて、コメントともに随時そのページを引用できること。 |  |  |
| 項目 |  | 内容 | 詳細 | 記入欄 | 備考 |
| ５ ワークフロー | 41 | 管理単位の設定・変更 | 管理者が、簡単な操作で部署ごと又は作成者ごと等の権限を付与する管理単位を設定できること。 |  |  |
| 42 | 管理単位ごとの権限制御 | 管理者が、簡単な操作で、管理単位ごとに、作業範囲等の細かな権限設定ができること。 |  |  |
| 43 | 複数ユーザーによる管理コンテンツ の共有 | 同一カテゴリや同一ページに対する複数の作成者/権限グループを設定できること。 |  |  |
| 44 | ワークフローと承認権限の設定 | 作成～承認のワークフローとコンテンツ内容の承認権限を、管理者が簡単な操作で設定できること。 |  |  |
| 45 | 個別ワークフローの設定 | ユーザごとに異なるワークフローが設定できること。 |  |  |
| 46 | ワークフローの担当者設定 | ワークフローの担当者は、CMSのユーザ又はユーザのグループごとに設定できること。 |  |  |
| 47 | 複数ページのワークフロー管理 | 複数ページを同一ワークフロー内で管理可能なこと。 |  |  |
| 48 | 代理承認者権限の設定 | 不在時等の対応を目的に、通常の承認者とは別に、代理承認者をあらかじめ設定できること。 |  |  |
| 49 | 緊急承認申請通常の承認 | 通常の承認申請とは区別した形式で、緊急時の承認申請ルートを設定し、作成者により選択させることができること。緊急時の承認ルートを使用した際に、通常の承認者に対してメール通知が行えること。 |  |  |
| 50 | 承認者による変更差分の確認 | 承認者が、作成者が変更した個所を確認できること。変更箇所は、入力項目ごとに、追加、削除、変更の状態が確認できること。 |  |  |
| ６ システム管理 | 51 | アクセス権限管理 | 作成したコンテンツに対して、ユーザごとのアクセス権設定(アクセス権無し／参照権／更新権の3種類の権限を 最低限とする)が行えること。 |  |  |
| 52 | 複数サーバへのコンテンツ配信 | 冗長化された複数のウェブサーバ等へ同時にコンテンツを配信できること。 |  |  |
| 53 | 一部サーバへのコンテンツ配信 抑制 | 冗長化された複数のウェブサーバ等へ同時にコンテンツを配信できる設定が行われている際に、一時的なサーバメンテナンス時などにサーバ設定を削除することなく、一部サーバへの配信を無効化できること。 |  |  |
| 54 | ページ内容による作成済みページ の検索 | ページ内のテキスト情報に基づき、CMS内の全ページを対象に検索(全文検索)が行えること。(ウェブサイト上のサイト内検索ではない) |  |  |
| 55 | サイト全体のアクセシビリティ状況 確認 | サイト内の全ページ又は特定のカテゴリ等を対象にアクセシビリティのチェックを施し、問題のあるページ一覧 や、ページごとの問題点一覧などを確認できること。 |  |  |
| 56 | チェック結果での検索 | アクセシビリティチェック、リンク切れチェックなどのチェック結果によるページの検索が可能であること。(未チェックのページを検索する、エラーが存在するページを検索する、など) |  |  |
| 57 | 更新のないページの一覧表示 | 最終更新日付での検索により一定期間更新されていないページを一覧で把握できること。管理者、承認者、作成者が、それぞれがアクセス権限を持つ範囲(階層、ページ等)に対して把握できること。 |  |  |
| 58 | テンプレート履歴保存 | テンプレートの変更履歴を保持し、過去の状態を参照・復元できること。アプリケーションとして履歴の保持期間の上限がないこと。 |  |  |
| 59 | 設定データのエクスポート・イン ポート | 編集可能な形式でCMSの設定データをエクスポートできること。また、編集したデータをインポートすることで、設定値の追加・変更・削除が可能なこと。 |  |  |
| 60 | コンテンツデータのエクスポート・イ ンポート | 編集可能な形式でCMSのコンテンツデータをエクスポートできること。また、編集したデータをインポートすること で、コンテンツの追加・変更・削除が可能なこと。 |  |  |
| ７ ファイル管理 | 61 | ウェブ制作ソフトで作成したコンテンツ ファイルの管理 | ホームページ・ビルダーやDreamweaverといったウェブ制作ソフトで作成されたコンテンツ一式(HTMLや画像等)を、簡易な操作によって、システム管理下のファイルとして取り込めること。 |  |  |
| 62 | ファイル取り込み時の差分抽出 | ファイルを取り込みする際、すでにCMSに登録されているファイルが存在する場合は、自動的にファイルの同一性をチェックし、差異のあるファイルのみを取り込むことができること。 |  |  |
| 63 | ファイル取り込み時のアクセシビリ ティチェック | 取り込んだHTMLファイルについて、アクセシビリティチェックが行われること。その際のチェックルールは、テンプ レートで作成したページに対するチェックと統一されること。 |  |  |
| 64 | ファイル取り込み時のリンク切れ チェック | 取り込んだHTMLファイルについて、リンク切れチェックが行われること。 |  |  |
| 65 | コンテンツファイルの公開 | 取り込んだコンテンツファイルの公開及び削除予定日時分の指定が行えること。 |  |  |
| 66 | ワークフローによる承認 | 取り込んだコンテンツファイルを公開するにあたり、テンプレートで作成したページと同様にワークフロー処理が行えること。 |  |  |
| 67 | 最新ファイルのダウンロード | 取り込んだコンテンツファイルの最新状態のファイルを、ファイル単位及びディレクトリ単位でダウンロードできること。 |  |  |
| 68 | 履歴管理 | 取り込んだコンテンツファイルの履歴(ファイル、更新ユーザ、更新日時等)を保持すること。過去の時点のファイルを、ファイル単位及びディレクトリ単位でダウンロードできること。 |  |  |
| 69 | ユーザ設定 | テンプレートを使用したウェブサイト更新業務と、ファイル管理機能を利用したウェブサイト更新業務のユーザ設定が統合的に行えること(同一ユーザIDがログインし直すことなく、双方の機能が利用できること)。 |  |  |
| 70 | 権限管理 | 取り込み先のディレクトリについて、ユーザ又はユーザのグループごとの権限により、許可されたディレクトリ以外は操作できないよう設定可能なこと。 |  |  |
| ８ 携帯電話・スマートフォン | 71 | 主要キャリアへの対応 | 最低主要３キャリア(ドコモ、au、ソフトバンク)の携帯電話のほか、スマートフォン(Android、iPhone全般)に対応すること。 |  |  |
| 72 | ページの同時生成 | PC向けにページを作成すると、スマートフォン用ページも同時生成されること。 |  |  |
| 73 | 携帯電話独自の設定 | アクセスキーの設定や、電話番号をかけるなど、携帯電話独自の設定が可能なこと。 |  |  |
| 74 | サイト表示 | スマートフォンによる閲覧時は、自動的にスマートフォン向けサイトを表示させること。 |  |  |
| 75 | 切替リンク設定 | スマートフォン向けサイトには、PC向けサイトへの切替リンクを設置できること。 |  |  |
| ９ セキュリティ | 76 | CMS操作履歴の保持・確認 | ユーザごとにCMSへのログイン履歴、操作履歴が確認できること。それらの履歴がCSV等でダウンロード可能なこと。 |  |  |
| 77 | パスワード有効期限の設定 | パスワード有効期限の設定が可能なこと。パスワード有効期限を超過した際は、強制的にパスワード変更を行う画面を表示し、ユーザがパスワード変更を行わない限り、ログインできなくすることが可能なこと。 |  |  |
| 78 | パスワードポリシーの設定 | パスワードに使用可能な文字種、文字長などを細かく定義することが可能なこと。 |  |  |
| 79 | パスワードの世代管理 | 管理パスワード変更を行う際に、指定した世代前のパスワードは利用できないように設定可能なこと。対象とする世代は、管理者により設定可能なこと。 |  |  |
| 80 | タイマー設定による自動ログオフ | 管理者が設定した時間を越えて作業を中断する場合、システムが自動的にログオフし、第三者による操作を制限できること。 |  |  |
| 10 データセンター | 81 | 立地条件 | 日本国内であること。 |  |  |
| 82 | 建物 | 耐震、制震、免震設計などの構造により、震度6強の地震に対して耐えうる構造となっていること。 |  |  |
| 83 | セキュリティ | IDカード、生体認証、監視カメラなどにより、適切な入退室管理がなされていること。 |  |  |
| 11 その他 | 84 | 導入実績 | 国、地方公共団体の主たるウェブサイトへの導入実績が、５団体以上あること。(備考欄に自治体名等を記載) |  |  |
| 85 | 継続稼働実績 | 国、地方公共団体の主たるウェブサイトとして、当該CMSを３年を超えて継続利用されている実績があること。(備考欄に自治体名等を記載)  |  |  |

(様式５)

見積書

|  |  |
| --- | --- |
|  | 令和　　 　年 　　月 　　日 |
| 須賀川市長 様 |  |
| 所 在 地 |  |
| 商号又は名称 |  |
| 代表者職氏名 | 印 |

須賀川市公式ウェブサイトCMSサービス利用及びシステム運用保守業務について、下記のとおり見積します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 見積金額 | 千 | 百 | 拾 | 億 | 千 | 百 | 拾 | 万 | 千 | 百 | 拾 | 円 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| (消費税額) 10% |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 合 計 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(内訳) (円)

|  |  |
| --- | --- |
| 区 分 | 金 額 |
| １ 初期構築費(イニシャル経費) |  |
|  | (１)サイト設計・構築費用 |  |
| (２)ソフトウェア費用 |  |
| (３)サーバ環境設定費用 |  |
| (４)データ移行費用 |  |
| (５)操作研修費用 |  |
| (６)その他 |  |
| ２ 運用保守費(ランニング経費／5年分) |  |
|  | (１)ソフトウェア利用費用 |  |
| (２)ソフトウェア保守費用 |  |
| (３)サーバ証明書利用料 |  |
| (４)データセンター利用料 |  |
| (５)制作支援、ＳＥ支援、ヘルプデスク費用 |  |
| (６)その他 |  |
| 初期構築費 ＋ 運用保守費 = 見積金額 |  |

（様式６）

令和　　年　　月　　日

**辞退届**

須賀川市長　様

申請者住所

商号又は名称

代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞

令和　　年　　月　　日付で表明した下記業務に係るプロポーザルへの参加を辞退したいので、届け出ます。

　なお、貸与された資料がある場合には、速やかに所定の方法により貴市に返還いたします。

記

１　業務名　　須賀川市公式ウェブサイトCMSサービス利用及びシステム運用保守業務

２　連絡先

住　　　所

商号又は名称

所属部署等

担当者氏名

電話

FAX

E-mail